

## 基 調 講 演

テーマ:災害で大切な人を失わないためにできること

講 師:岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴



### ■略 歴

平成7年3月:岡山大学理学部地球科学科卒業

平成9年3月:岡山大学大学院理学研究科地球科学専攻修了

平成9年4月:株式会社エイトコンサルタント(現:エイト日本技術開発)

平成25年4月:岡山理科大学生物地球学部准教授(現在に至る)

### ■研究活動

専門は防災気象学。航空レーザ測量データを用いた土砂災害ハザードマップの設定手法の開発、土砂災害警戒情報の基準設定などを研究するとともに、土砂災害ソフト対策の推進、自助・共助を目的とした情報提供システムの開発や防災教育の推進に関する研究開発を進めている。

### ■著 書

土砂災害とひなん

土石流のチカラ

土砂災害のきほん

命を守るための土砂災害読本

岡山の「災害」を科学する

最近は幼児や小学生低学年向けの防災教育関連のものが多い。



### ■研究開発

「ひなん獅子」(ひなんしし)

自治会や地域で「いつ」避難するかを、その場所に降った雨にもとづいて教えるシステムである。信号に似たランプの点灯によって表示するしくみとなっている。

一般の方が取り扱うことを想定し、ケーブルを電源に接続した直後に運用開始する最小限、最低限のコスト及び規模のシステムになっている。



### ■講演概要等

平成30年7月豪雨で被災した岡山県内の被災地の状況と防災教育の必要性およびその後の防災対策の転換点について説明する。住民主体とした防災対策への転換となり、住民に対して必要となる防災教育と自治会が設置できる警戒避難システムの開発について事例を紹介する。基調講演タイトルにある「災害で大切な人を失わないためにできること」について最も必要である視点について最後に紹介する。